

Ⅶ 異動届出書の記入例（一括徴収する場合）

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書 特別徴収

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

		年度			
		1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度	
練馬区長 殿		〒123-4567 東京都〇〇区××1-2-3		特別徴収義務者 指定番号 宛名番号	
令和〇〇年〇〇月〇〇日提出		フリガナ マルバツショウジカブシキガイシャ		〇〇60000000 1	
給与支払者		氏名または名称 〇×商事株式会社		担連所属 当絡氏名 者先電話	
〇〇課〇〇係 練馬 花子		個人番号 1111111111111111		〇〇-0000-0000 内線(111)	
フリガナ ネリマイチロウ		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	
氏名 練馬 一郎		84,000	21,000	63,000	
生年月日 昭和55年5月5日		異動年月日		異動の事由	
個人番号 222222222222		6月から9月から5年1		1. 退職・長 2. 転勤・長 3. 退職・長 4. 死 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他	
受給者番号 0123456789		8月まで5月まで8月		2. 特別徴収継続 3. 普通徴収 (本人納付)	
1月1日現在の住所 練馬区〇〇4-5-6		31日		異動後の未徴収 税額の徴収方法	
異動後の住所 〇〇区〇〇1-1-1		円		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)	
1. 特別徴収継続の場合		2. 一括徴収の場合		3. 普通徴収の場合	
特別徴収義務者 指定番号		徴収予定月日		徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	
所在地		9月25日		63,000円	
フリガナ		左記の一括徴収した税額は、		9月分(翌月10日納入期限分)で	
氏名または名称		納入します。			
法人番号		理由		理由	
新規		1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出があったため		1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため	
担当者連絡先		2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため		2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与または退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため	
所属氏名		3. 死亡による退職であるため		3. 死亡による退職であるため	
電話		※区記入欄			
内線()					
受給者番号					
納入書の要否 (新規の場合のみ記載)					
右から番号を記入 1. 必要 2. 不要					

税額通知書の受給者番号を記入してください。

税額通知書の住所を記入してください。

税額通知書の特別徴収税額を記入してください。

異動者の税額を何月から何月まで徴収したか合計額を記入してください。

(ア)の特別徴収税額から(イ)の徴収済額を差し引いた額を記入してください。

1または2の該当する数字を記入してください。

税額通知書の特別徴収義務者指定番号と宛名番号を記入してください。

異動届出書の内容について応答できる方の氏名・連絡先を記入してください。

2を記入してください。

該当する数字を記入してください。また、「7.その他」を記入する場合は、事由・理由の欄も記入してください。

退職・転勤等の異動が生じた年月日を記入してください。

一括徴収分について、徴収予定月日、徴収予定額、納入予定月を記入してください。